西大路幼稚園

日時: 平成 18年10月16日(月) 13:00~17:00

平成 18年10月19日(木) 9:00~17:00

場所:日野町西大路47-1

広い原っぱとそばの竹やぶがフィールドです。原っぱには、ドングリがいっぱい 落ち、虫がたくさん鳴いています。竹やぶの中は薄暗くとても神秘的です。原っぱ では思いっきり開放され、竹やぶの中ではあそびをたくさん見つけました。

「どんぐりころころ」のプログラム

「ドングリころころ」の歌を物語にして展開していくあそびです。リスやドングリにな りきること(「リスとドングリ」のおにごっこ)で、生きものの生活を知るプログラムです。



▲ドングリはリスに捕まったら、 池に入ります。



いよ。



▼リスはドングリを食 べ、ウンチをします。 そのウンチがドングリ の木の栄養になりま



ドングリに なって、山 から転げ落 ちた。



くりかえし やなー。

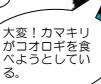
「耳をすまそう、探してみよう!!」のプログラム

虫捕りをしたり、虫の声を聞いたりすることで、虫がどこに棲んでいるのか、なぜ鳴く のかを考えるプログラムです。



耳をすましてみよう。 何が聞こえるかな? なぜ虫は鳴くのかな?

> 男の子が女 の子を呼ぶ とき!



日が当たると暑いか ら、すずしいところ にかえしてあげよ



草むらでいっ ぱい鳴き声が したよ。

虫探し

どうして捕まえ

たらいいかな。

▲虫をなぜもといた場所に還す かということを子どもたちと 一緒に考えて見ましょう。

「竹やぶ大冒険!」のプログラム

竹やぶに棲む生きものに出合ったり、落ち葉を踏みしめる音や竹の音を聞いたり、竹に登ったり、竹の上を歩いたりすることで、竹は細いけれど強いことや竹やぶにも生きものがいることに気づきます。

葉っぱの下 にダンゴ虫 がいた。



ふかふかで気 持ちいいよ!

ひげが生え

ている。

上はまぶ しいね。 電気を消 して!!

こわくないよ!



▲「山の音楽家」に合わせ て合奏。竹が楽器に大変身



▲チャレンジ



中にかぐや姫がい るんとちがう。

参加された先生の



竹やぶの中で子どもたちはあそびをどんどん展開していった。こんなに子どもたち自身でやりたいというイメージをもってあそんでいる姿を始めてみた。

安全面ばかり気にし、守りの保育になっていた。安全すぎたら面白くないことに気づかされた。子どもたちがスリルを味わい、チャレンジしていく姿にいつもと違う面を見た。

保育に自然をどう活かしていけばいいか悩んでいたが、保育に取り入れるきっかけを見つけた。子どもから出た言葉やあそびを保育に生かしていくことの大切さを感じた。

下見でメッセージやねらいを考えることで、自然とどういうふうに向き合うかという視点を持つことができた。

保育の仕方で、子どもたちに感動を与えることができるとわかった。

Q&A ≥

(解答:講師 島川武治(しまっち))

Q:捕った虫をもといた場所に還すように指導したいが、どうすればいいでしょう?

A:命のあるものは時間をとって考えることが大切です。3つの方法をとっています。 ①子どもたちに「どうしたい」と問う。いろんな意見が出るが、虫にとっていちばんよい方法はどうなのかということをおさえる。②飼育ケースの中にしばらく置き、「ここに入れておいたら、カマキリが他の虫を食べるけれど、どうする」と問う。③感情移入をする。例えば「みんなは教室に一人で泊まれるかな?飼育ケースの中にいることは教室にずっといることと同じだよ。みんなはできるかな」と問う。子どもたちはたいていわかってくれます。